

世田谷区長 本

計画書の作成年月日を記入

令和●年 ●月 ●●日

「所有者」は、必ずしも民法上の所有者である必要はありません。建築物を事実上占有して使用している方や、総合的な管理権限を与えられている方等を所有者とみなすことができます。

建築物名称 世田谷〇〇ビル  
建築物所在地 世田谷区世田谷〇-〇-〇  
所有者住所 世田谷区世田谷●-●-●  
所有者氏名 株式会社世田谷〇〇  
代表取締役 〇〇 〇〇

押印不要

(法人にあたっては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)

世田谷区清掃・リサイクル条例第20条第3項の規定により、事業用大規模建築物における 令和●年度の再利用計画書を次のとおり提出します。

建築物の属性				
事業に用いる場所の延べ床面積 (住宅部分を除き、共用部分を含む。)(別館を含む。)	2.500㎡	建築物(別館がある場合は、代表の建築物)の階数	地上 3階 地下 1階	
同一敷地内別館の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有の場合は、下の「※別館」	敷地面積でなく、延床面積です。		
建築物(別館を含む。)に出入りする人の数	従業員(テナントの従業員を含む。)	100人	計	600人
	外来者(一日平均)	500人		
建築物(別館を含む。)の使用状況	<input type="checkbox"/> 全ての部分を所有者が使用 <input checked="" type="checkbox"/> 所有者及びテナントが使用 <input type="checkbox"/> 全ての部分をテナントが使用 <input type="checkbox"/> その他( )			
建築物(別館を含む。)を使用している事業者		建築物(別館を含む。)を使用している事業者の名称 ※別添に代えることも可		
事務所	1所	1.500㎡	●●企画(1F) ××不動産(2F)  テナントビルは各テナント名とそのテナントが入っている階を記載。 (例:A店(1F)、B社(2F)、C事業所(3F))	
工場・研究施設	所	㎡		
店舗(飲食店を除く。)	1店	500㎡		
飲食店・ホテル・式場	1店	500㎡		
倉庫・流通センター		㎡		
医療機関		㎡		
その他( )		㎡		
共用部分	住宅部分		㎡	計 2.500㎡
※別館について	別館の名称	世田谷〇〇ビル別館		
	所在地	世田谷区世田谷△-△-△		
	階数及び延べ床面積	地上 3階 地下 階	1.000㎡	
廃棄物の種類	廃棄物の収集運搬業者	許可番号	持込先	ごみ減量及び再利用の現況
一般廃棄物	(株)●●商会	●●●●	清掃工場	(前々年度と前年度を比較した評価及び変動の要因等)
産業廃棄物	▲▲興業(株)	●●●●	●×商事	
再生資源の種類	区収集の場合は、種類を「可燃ごみ」「不燃ごみ」とし、業者欄に「区収集」又は「世田谷区」と記載。その他の欄は記載不要。			再利用率5%アップを目標に取り組んだ結果、目標を達成することができ、廃棄量が減少するとともに、職員の意識も高まり全体の発生量も減少した。
古紙・ダンボール等	●×商店	(株)●●紙業	前年度の結果を振り返り評価や変動の要因を記入。	
厨芥	(株)●×商会	(有)××エナジー		
発泡スチロール	▲▲興業(株)	■●リサイクル(株)		
廃油	■●油脂(株)	■●油脂(株)		
	区収集の場合は、業者欄に「区収集」又は「世田谷区」と記載。持込先は記載不要。			
	収集運搬業者が直接持ち込む先を記入。			物管理責任者
1 今年度計画と前年度実績を比較して増減した理由	テナントの移転があったため、段ボール類の発生量が増えた。			選任年月日 ●年 ●月 ●日
2 ごみ減量及び再利用についての今年度の目標	再利用率を10%アップさせる。			廃棄物管理責任者講習会受講年月日(直近) 未受講の場合は空欄。 ●年 ●月 ●日
3 今後の具体的取組について	テナント会議でごみの発生量及び廃棄量を減らすよう協力を呼び掛ける。			所在地・〒154-0017 世田谷区世田谷4-21-27
	可能な限り「数値化」して目標を設定すると具体的になります。			法人名 株式会社 世田谷商事
	実際の記入者名を記入。 廃棄物管理責任者本人の場合も、そうでない場合も記入。			所属名・職名 総務部長
				氏名・ふりがな せたがや たろう 世田谷 太郎
				電話番号 03(●●●●)▲▲▲▲(内線)■●■●
				メールアドレス ●●●●@▲▲▲▲.■●■●.jp